

Lachesis Muta (Lach.) ブッシュマスター(南米の毒蛇)

★ 一般的特徴

主に血液や循環に働きかけ、充血や血管の鼓動(静脈瘤のような)の治療に使われている。また、循環に問題があって、顔、耳、指、足の指などが青紫色になっているときにも使われる。

【一般】

- 治癒が遅いとき、青い縁が出来た傷、赤いおでき(はれもの)、鼻血、左側の頭痛、熱、熱い汗、震え、身体のある部分ががんがんすること
- そばかすがあり赤ら顔
- 肥満気味、暗い色の髪、エネルギー
- 紫がかった青白い顔
- 舌先で上唇をはじくような癖

【身体面】

- 心臓が弱い—速い、弱い鼓動、不規則な脈拍、動悸、狭心症、呼吸困難など
- 更年期障害の症状—ホットフラッシュ(ほてり)—に対応する
- 生理前症候群—子宮の痙攣、うっ血—、血が流れると楽になる生理痛
- 喉の問題—のどの痛み(腫れて紫色になっている、左耳の痛みを伴うのどの左側の痛み、液体を飲み込むと痛いなど)
- 神経系統の障害—例えば、小発作(てんかんの一種)や失神
- 潰瘍や胃の痛み、盲腸時の嘔吐、消化器系統の問題など

【精神面】

- 関係性において、利己的で嫉妬心が強くしばしば、パートナーとの愛と憎しみの狭間で振り子のように揺れ動く

【反応】

★ 悪化

熱い飲み物、熱いまたは温かいお風呂、寝ること、触られる事、身体の左側、きつい服を着ること(特に喉の周り)、アルコール、熱さ、太陽、更年期の間

★ 好転

分泌物、食べること、新鮮な空気、冷たい飲み物

【妊娠・分娩・産後】

- 静脈瘤様腫脹—左側、締め付けられるような収縮性の感覚。きつい洋服に過敏で寝ることで悪化
- 痔—触られる事に過敏、きつい服が駄目。青紫色に変化、眠ることで悪化

【食べ物】

嫌悪:パン、タバコ、温かい食べ物

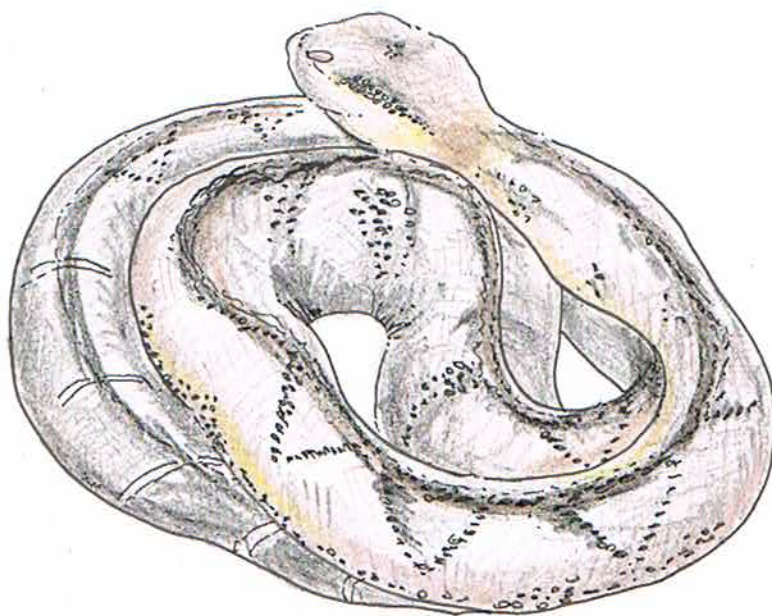
欲求:アルコール、でんぷん質を含む食べ物、牡蠣、ビール、ピクルス、酸っぱいもの、ウイスキー、ワイン

悪化:冷たい飲み物、温かい食べ物、肉
(腐った)

好転:コーヒー

【乳幼児】

- 飛んだり跳ねたり、おしゃべりで興奮しやすい
- しばしば嫉妬が原因で感情や振る舞いに問題が起きやすい、例:弟や妹の誕生など
- 友人への独占欲
- 仲間を扇動して、悪さをしたり、盗んだり、ペットをいじめたりして両親や教師を試す
- 仲間を傷つけたりする。相手の弱点を見極めそこを突く



Magnesium Phosphorica (Mag-phos.) 磷酸マグネシウム

★ 一般的な特徴

これは、ホメオパシー版アスピリンと呼ばれている、重症ではない痛みー頭痛、耳の痛み、生理痛、坐骨神経痛、歯痛、神経痛、コリック(腹部の疼痛)、痙攣などに効果がある

【一般】

- 冷たい風にさらされたことで悪化
- 熱さと強く押さえることで楽になる、寒いと余計に悪くなる
- 痛み: 痙攣、神経に来る痛み

【身体面】

- 生理痛: 苦痛で身体を折り曲げる
- ひどいしゃっくり: 新生児におけるしゃっくり、新生児のコリック(足を上げるようにしている)
- 子供で歯が生える時
- 作家、音楽家、タイピストなど: 指や手を長く使う職業に従事している人が、指や手に痙攣を起こす

【食べ物】

嫌悪: コーヒー

悪化: 冷たい飲み物

【精神面】

- 非常に敏感な芸術的または知的な人、極端に神経質、激しい、落ち着きがない
- 神経質、緊張

【反応】

★ 悪化

寒さ、触られる事、軽い圧迫、布団をかけないこと、新鮮な空気の中を歩くこと、夜

★ 好転

暑さ(熱さ)、強い圧迫、マッサージ、身体を折り曲げること

7/5



Staphysagria (Staph.) ひえんそう

★ 一般的特徴

抑制された感情が引き金となって身体症状が現れる。アルコールや刺激物に対する中毒

【一般】

- 中毒—食べすぎ、働きすぎ、アルコール乱用)
- 体が冷たい
- 甘いもの、牛乳、タバコを切望する
- タバコの煙に対して過敏
- 触れられることに対しきわめて敏感
- 抑圧された怒り、または神経の興奮による震え
- 腐った卵の臭いのする汗、おなら、便
- 絶えず飲み込む
- あくびによる流涙

【身体面】

- 性交後の膀胱炎
- 歯に移動する痛み
- カテーテルを入れた後の膀胱炎、手術後の膀胱の痛み

【精神面】

- 抑圧された感情による疾患
- 従順、温厚、口論を避ける、トラブルを起こしたくない。臆病(相手が偉すぎて争えない)
- 敏感、あらゆる外的影響に対して敏感である(他者の失礼な無礼な態度に対して)、すぐ感情を害する
- 自制心を失うことが怖い
- とてもロマンチック、失望しやすい、極度の過去への郷愁、怒りに対する恐怖から関係が続ける
- 性への興味、性的欲求不満、いくら抑えても性的な考えが頭に浮かぶ、マスターベーションをせずには居られない
- 過去に性的虐待の経験を持つことが多い

【反応】

★ 悪化

感情(深い悲しみ、苛立ち、憤り、口論、侮辱、屈辱、抑圧された)、過度の性交、マスターベーション、触れること、冷たい飲み物、裂傷、水銀、夜、朝、タバコ

★ 好転

暖かさ、休息、朝食

【妊娠・分娩・産後】

- 妊娠初期と後期によくある膀胱炎—感情を飲み込む、性的活動の増加、性交の後のヒリヒリ感、虐待のある関係性

【食べ物】

嫌悪:牛乳、チーズ、固形物

欲求:スープ、甘いもの、アルコール飲料、
ブランデー、流動食、肉を食べなければならぬ、牛乳、米(乾燥した)、
タバコ

悪化:牛乳、タバコ、酸っぱいもの、酢

